

大府市制50周年記念 市勢要覧2020

FUN! OBU

夢ふくらむ 大府の未来

OBU 50th Anniversary
City Guidebook

FUN! OBU

夢ふくらむ 大府の未来

大府市は市制50周年を迎えました

『FUN! OBU』

豊かな自然。産業と文化。

市制50周年を迎え、ますます発展する

住みよいまち『大府』。

『FUN! OBU』

未来に向かい、一人ひとりが

夢や幸せを描き、

大府に携わるみんなが楽しみ

喜びを感じられるまち『大府』。

大府を誇りに。

大府を懂れに。

大府をもっと好きに。

『健康都市おおぶ』が、次の50年に
向けて新しい一歩を踏み出します。



川沿いを散歩しながら眺める桜が最高（石ヶ瀬川緑道）

PR ambassador

市制50周年記念スペシャルサポーター 女優 柳 美稀 さん

1997年8月24日生まれ。大府市出身。オスカープロモーション所属。
「動物戦隊ジュウオウジャー」「賭ケグルイ」を始め、数々の映画やテレビドラマ、
CMなどに出演し、幅広く活動している。



大府市公式HPから
動画をご覧いただけます。



Special Talk in OBU

PR ambassador Takezawa Kyoko

大府小、大府中出身。3歳でバイオリンを始め、小学6年の時には大府市音楽祭で演奏した。1986年第2回インディアナポリス国際ヴァイオリン・コンクールで圧倒的な優勝を飾り、国際的スターダムにのし上がる。

PR ambassador Mizuno Saki

北山小、愛知淑徳中出身。大学在学中に「高嶋ちさ子12人のヴァイオリニスト」のメンバーとして活動。大府市公式イメージ曲「HABATAKI」「FUN! OBU」の作曲を手掛ける。

PR ambassador Yoshida Hidehiko

共長小出身。中学3年生から東京の講道学舎へ。バルセロナ五輪柔道男子78キロ級で金メダル。アトランタ・シドニー五輪にも出場した。現在はパーク24柔道部総監督を務める。

大府市長 岡村秀人 × バイオリニスト 竹澤恭子 × バイオリニスト 水野紗希 × 柔道家 吉田秀彦

自然豊かな思い出の大府

市長 本日はお集まりいただき、ありがとうございます。さっそくですが、大府での思い出などをうかがっていききたいと思います。吉田さんは大石道場のご出身ですね。

吉田 そのころの僕は典型的な悪ガキで、父親に連れられて柔道の道場に通い始めました。だんだん相手の気持ちがわかるようになって、学校でも落ち着いてきましたね。大府にいたのは中学2年までですが、今でも付き合いのある仲間にも出会えました。

竹澤 私がよく覚えているのは中学校の桜並木です。朝はたしかヴィヴァルディの『四季』が流れていて、それを聴きながら登校していました。桜の花びらが舞う様子がきれいでしたね。

市長 大府中学校の桜並木は今も受け継がれています。残していきたい景色のひとつですね。

水野 私が印象に残っているのは、大府駅前のバイオリン教室です。4歳のころから毎週日曜日に、母と一緒に車で通っていたことが思い出になっています。いろいろな習い事をしていましたが、バイオリンだけはやめようと思ったことがなかったですね。

大府を語る特別座談会

大府市のこれまでとこれから。 魅力あふれるふるさとへの想い。

大府市制50周年を記念して、広報大使のみなさんと岡村市長による大府を語る特別座談会を開催。大府での思い出やこれからの希望などをお話いただきました。

大府
スペシャル
トーク



応援してもらった大府のみなさんに、
恩返しの気持ちを持って活動しています。

竹澤 恭子

吉田 オリンピックで金メダルをとったときは、反響の大きさにびっくりしました。大府駅から役所までのパレードに、オープンカーが全然進めないほどの人に集まってもらえて。だから僕が広報大使としてできるのは、大府市出身の金メダリストだということを伝えていくことだと思っています。

竹澤 私はバイオリンが忙しくなった中学生のころ、先生方や周りの友達にすごく応援してもらいました。初めてのコンサートにも同級生がきてくれましたし、大府市のみなさまに育てられたという思いがあります。だから恩返しの気持ちは強くて、機会があれば

ばふるさと・大府の話をしたいと思っています。

水野 大府のぶどうなどはとてもおいしいので、広報大使になる以前からお歳暮やお中元で贈ったりしていました。吉田さんのような金メダリストが輩出されているのはすごいことですし、県外の方にも、もっと大府の魅力を広めていきたいですね。

未来へ残していくレガシー

市長 みなさんにはさらに活躍していただき、大府の子どもたちにはその背中を追って成長してもらいたいと思っています。

竹澤 クラシック音楽はどうしても難しく思われがちですが、子どもたちや若い人が音楽に触れる機会を作ってほしいですね。私は今、大府の各中学校で生の音楽を聴いてもらうイベントを行っています。夢としては、大府市発信の音楽祭のようなものが開けたらと思っています。

水野 そうですね、私も音楽祭については考えていました。海外だとピクニックのような感じで、芝生でビールなどを飲みながら聴くクラシックのコンサートもあります。もっと気軽にクラシック

を楽しめる機会があればいいですね。

吉田 気軽に楽しめるという意味では、パーク24では小学生を対象に無料の柔道教室をやっています。子どもたちが柔道に触れる機会を少しでも増やして、裾野を広げていきたいですね。また体を動かす機会にもなると思うので、運動習慣を身につけるきっかけにもなるとうれしいです。

市長 大府市は先人たちのおかげで、本当に住みよい街になっています。そういった財産を大切にしながら、新たなレガシーを作っていかなければいけませんね。本日はありがとうございました。

自然のなかで気軽に楽しめる音楽祭
などができたら、すてきですね。

水野 紗希



座談会の模様を動画でチェック



柔道を通して、大府が金メダルのまち、
健康都市であることを伝えていきたい。

吉田 秀彦



市長 スズキ・メソッドの教室ですね。スズキ・メソッドを創始した鈴木鎮一氏の父親の鈴木政吉氏は、大府市にバイオリン工場を建てて研究などをされていました。そのなかで竹澤さんや水野さんのようなバイオリニストが誕生したことに縁の深さを感じます。

吉田 子ども時代を思い返すと、今より自然が多かったですね。僕は裏山のたけのこを全部掘ってしまったり、悪さもいっぱいしましたが、自然の中で身体が鍛えられたと感じています。

竹澤 確かに以前と比べると街は様変わりしましたね。私が住んでいたところでも畑が宅地になる

ところがたくさんあって、人が増えていくのを感じました。

市長 大府市の人口は今も緩やかに増加しています。それでもぶどうなどの農作物や、大きな公園があり、自然も多く残るバランスのとれた街になっていると思います。

竹澤 公園はよく整備されていますよね。私の母はあいち健康の森公園でウォーキングをしているみたいですし、地産のものを売っているげんきの郷にも買い物に行っています。

水野 あいち健康の森公園は私も帰省したときに行くことがあります。友達からも休みの日などに子どもを連れて行くという話を聞きます。名古屋からも行くみたいですよ。

伝えていきたい大府の魅力

市長 健康ということでは、スポーツは体の健康につながります。その中で吉田さんをはじめ、オリンピックで活躍する選手がたくさんいます。また芸術面では竹澤さんがいらっちゃって、水野さんが続いてきた。みなさんは広報大使として、市民の夢と希望の星になってくださっています。

世界・全国を舞台に躍動し、夢や感動を与える 大府の競技スポーツ

柔道の吉田秀彦さんやレスリングの吉田沙保里さんなど、大府ゆかりのアスリートがオリンピックで獲得した金メダルは全部で14個。企業スポーツも盛んで、アスリートたちが講師となるスポーツ教室も開催され、子どもたちに夢を与えています。



1 至学館大学女子レスリング部卒業生：川井梨紗子選手（現ジャパンパレレッジ所属）／2020年2月開催のアジア選手権女子レスリング57kg級で、優勝に輝く。

2 大石道場／五輪柔道金メダリストの吉田秀彦さんや谷本歩実さんを輩出。中学生までの子どもたちが偉大な先輩の背中を追い、日々稽古を重ねる。

3 至学館大学女子レスリング部／多くの五輪メダリストを輩出し、世界的にも有名なレスリングの名門。東京五輪には、至学館ゆかりの選手が4人内定している。

4 至学館大学女子レスリング部卒業生：吉田沙保里さん／オリンピック3連覇を含む世界大会16連覇など数多くの輝かしい成績を残す。2019年大府市民栄誉賞が授与された。

掲載以外の写真はこちらで
Check！





5 東海興業バドミントン部／男子は国内最高峰のS/Jリーグに所属し、2019年は6位。女子もS/JリーグIIに所属。バドミントンが盛んな大府の子どもたちの憧れ。

6 愛三工業陸上競技部／元日のニューイヤー駅伝には19年連続19回の出場を誇る。2020年には初の入賞となる6位に躍進した。

7 愛三工業レーシングチーム／世界を舞台に戦う自転車ロードレースチーム。2020年から全日本実業団自転車競技連盟Jプロツアーにも登録し、国内外で戦う。

8 アベックスHolly Knights／チーム名は創業地であり本社所在地の大府市柊山の「柊：Holly」に由来する。日本社会人バスケットボール連盟地域リーグに所属。

9 大府高校野球部／横原寛己さん(元巨人)、赤星恵広さん(元阪神)、小山雄輝さん(元巨人)らプロ野球選手を輩出する強豪校。春4回・夏3回の甲子園出場。





1 巨峰／大府といえば巨峰。大府はぶどうの名産地で、巨峰をはじめ多くの品種が栽培されている。7月下旬から9月中旬にかけては市内に多数の直売所が開所する。

2 シャインマスカット／皮ごと食べられ、甘みが強く、消費者に大人気の品種。マスカットの香りがあり食味に優れている。

3 新高／別名ジャンボ梨。普通の梨の3～4倍の大きさと、果肉はジューシーで、爽やかな甘味が広がる。収穫時期は9月中旬から10月上旬まで。

4 木の山芋／強い粘りと素朴な風味が自慢。11月から12月にかけて収穫され、低カロリーで滋養たっぷりのヘルシー食品としても注目。

5 JAあぐりタウン げんきの郷／地元の採れたて農産物が豊富にそろった直売所を中心とした複合施設。パン・惣菜・スイーツのほか、レストランや天然温泉なども併設され、市内外から年間230万人以上が訪れる地域の交流拠点。

6 げんきの郷はなまる市／採れたての野菜や果物を目当てに多くのお客さんにぎわう店内。

7 げんきの郷すくすく丘／旬のフルーツを使ったオリジナルスイーツが自慢のカフェやフードコートもあり、家族でのんびり楽しめる施設。小さな子どもたちが遊べる水遊び場や人工芝広場も人気。

掲載以外の写真は[こちらでCheck!](#)



温暖な気候と愛知用水の恵みを受けて育つ 大府の農産物

愛知用水による農業用水の安定供給や大消費地名古屋に隣接する立地条件のもと、県内トップの農業産出額を誇るぶどうをはじめ米、野菜、果樹、畜産など多彩な都市近郊農業が営まれています。

農業

ものづくり企業を中心に 活力とにぎわいを見せる大府の商工業

自動車関連産業を中心に、ものづくり企業が集積する大府。地元企業の活性化が、地域の雇用を生み出し、地域経済を支えています。現状にとどまらず、常に新たな技術やサービスを生み出す企業の努力が、まちににぎわいをもたらしています。



1 株式会社豊田自動織機長草工場／コンパクトSUV『RAV4』の組み立てライン。世界中で走るRAV4は長草工場から生み出されている。

2 3 KURUTOおおぶ／平成30年4月、大府駅構内にオープン。健康と観光をコンセプトにしたカフェ＆物産ショップ。季節のフルーツをふんだんに使ったパフェが自慢。

4 はたけぞく／若手農業者が生産する自然栽培野菜を使った料理を提供する農家カフェ。健康都市おおぶ どぶろく(DOBUROKU)特区を活用して、特色あるどぶろくの製造・販売をしている。

5 三代目下村牛／大府市6次産業化推進戦略に基づき、地元の畜産農家が始めた焼肉店。繁殖から肥育まで自社牧場で一貫生産したA5黒毛和牛「下村牛」を提供。

6 株式会社スギ薬局／横根町に本社を構え、中部、関東、関西にドラッグストアを展開する。地域貢献活動に積極的で市との連携事業も数多く実施している。



掲載以外の写真はここで
Check!





4



2



3



5

1 あいち健康の森公園／広大な園内には、テニスコートや球技場のほか、体力測定ができる「健康ロード」や大型遊具などが整備されている。

2 大倉公園／つつじの花が咲く季節はつつじまつりが行われる。古き時代の趣きを現代に伝える市のシンボルの茅葺門の茅葺き屋根は友好都市である岩手県遠野市の職人により手掛けられた。

3 大府みどり公園／総面積は9.8ha。広大な敷地の中には、子どもたちに人気の遊具が盛りだくさん。バーベキュー場もあり、週末は多くの市民でにぎわう。

4 鞍流瀬川緑道飛び石／右岸と左岸にある川沿いのウォーキングコースをつなぐ飛び石。子どもたちが思わず飛んでしまう。

5 6 ハツ屋大池公園／ザイルクライミングや複合遊具など子どもたちが無心になって遊べる遊具が豊富。大型シェルターの下には人工芝が敷かれ、小さなお子さん連れでも日陰の中で休みながら楽しめる。



6

掲載以外の写真はこちらで
Check!



1

子どもたちが思わず駆け出す、緑あふれる 大府の公園

芝生広場を駆け回る子どもたち、季節の花々を眺めながら散歩するお年寄り、緑に囲まれながらジョギングをする若者、公園・緑道の楽しみ方は人それぞれで無限大。住みやすいまちを象徴する市民の憩いの場が大府には豊富にあります。

公園・緑道



2

1 健康長寿塾／国立長寿医療研究センターが開発した、脳と体の運動を同時に行う「コグニサイズ」を始め、ストレッチ、筋力トレーニングで認知症を予防。

2 認知症啓発ライトアップ／認知症になっても不安のないまちになるようにとの願いを込め、9月21日の世界アルツハイマーデーに大府市役所庁舎がオレンジ色に染まる。

3 国立長寿医療研究センター／高齢者医療に関する世界トップレベルの研究機関。市と連携し、認知症予防等の取り組みを進めている。

4 磁気共鳴断層撮影(MRI)装置／平成29年度、国立長寿医療研究センターが、市の補助金を受けて整備。

5 認知症介護研究・研修大府センター／全国に3カ所設置されている認知症介護に関する国の研究・研修施設のひとつ。

6 認知症サポーター養成講座／認知症についての基礎知識と認知症の方との接し方等を学ぶ講座。市では積極的に推進し、認知症サポーター養成2万人チャレンジを展開。

7 OBUオレンジリングモニュメント／平成30年12月に大府駅西口に設置。OBUの「O」は、認知症サポーターの証し「オレンジリング」をモチーフにしている。

掲載以外の写真は[こちらでCheck!](#)



7



6



5

認知症になっても安心して暮らせるまちを目指す 大府の認知症施策

平成29年12月、全国初となる「大府市認知症に対する不安のないまちづくり推進条例」を制定した大府。様々な認知症施策を通して、認知症に対する不安を解消し、誰もが安心して暮らすことができるまちを目指し、全力で取り組んでいます。

認知症
不安ゼロ
のまち



1

竹澤恭子 学校訪問コンサート

中学生の文化芸術への関心を高めるため、世界的なバイオリニストとして活躍する竹澤恭子さんを招き、市内全中学校で3年に一度開催しています。中学校在学中に、世界の第一線で活躍する竹澤さんの演奏を聴くことができる貴重な機会として好評です。演奏だけでなく、竹澤さんから中学生の頃の思い出やプロ音楽家を志した理由を聞き、中学生は自分自身の進路を考えるきっかけになっています。



レクチャーコンサート

鈴木政吉の功績や大府との関わりを伝え、レガシーとしていくことを目的に開催しています。かつて大府に鈴木バイオリン製造の分工場があったこと、その傍には政吉がバイオリンの研究に没頭した済韻研究所があったこと、政吉の三男・鎮一が確立した音楽教育法「スズキ・メソッド」のこと、スズキ・メソッドで学んだ竹澤恭子さんや水野紗希さんが世界、全国で活躍していること…。大府とバイオリンとの関係がわかるコンサートです。

文化

大府とバイオリン

Profile

鈴木 政吉 プロフィール

鈴木バイオリン製造株式会社の創業者。1859年名古屋市生まれ。16歳の頃から父の仕事の三味線作りを手伝う。和楽器の衰退を感じ、28歳の頃小学校の唱歌の教師になることを目指す中でバイオリンに出会い、魅せられ、鈴木バイオリン製造を創業する。1934年に社長の座を退いてからは、大府に建てられた済韻研究所でバイオリンの音色の研究を続け、1944年に84歳で生涯を閉じる。



写真提供：鈴木バイオリン製造㈱

大府で研究に没頭した 日本のバイオリン王・鈴木政吉

鈴木政吉は、1887年に鈴木バイオリン製造を名古屋に創業し、大正時代には世界的楽器メーカーへと成長させました。しかし、世界恐慌の影響を受け、1933年に和議破産となり、会社再建には長男の梅雄が奔走しました。梅雄はドイツの楽器生産の村「マルクノイキルヘン」に倣い、大府の横根町に鈴木バイオリン製造の分工場を新設しました。分工場の隣には、政吉がバイオリンの音色の研究をするための済韻研究所も建てられました。

政吉が製造したバイオリンは、国内外の博覧会で数々の賞を受賞しています。物理学者アインシュタインにも贈呈され、本人から政吉に礼状が送られた記録も残っています。

政吉の三男・鎮一は、ドイツに留学し、バイオリン演奏を学び、1946年にスズキ・メソッドの基となる会を結成しました。スズキ・メソッドは、幼児期から音楽を通じて心豊かな人間を育てる優れた音楽教育法として世界的に評価され、大府市出身のバイオリニスト竹澤恭子さんや水野紗希さんも、幼少期にスズキ・メソッドで学んでいます。



大府分工場の傍に建っていた済韻研究所

「三番叟——さんばそう——」

横根藤井神社祭礼



熱い思いで受け継がれる伝統
天下太平と五穀豊穡を祈願し、優雅に舞う

大府市横根町惣作に所在する横根藤井神社で毎年10月の第2日曜日に行われる祭礼。この祭礼では、子どもたちが優雅に舞い、世の中の安穩と豊作を願う「三番叟」と石丸・中・南の各組が先祖代々大切に守ってきた山車が奉納されます。いずれも江戸時代から伝わるもので三番叟は大府市

無形民俗文化財に、山車は大府市有形民俗文化財に指定されています。山車は、高さ約6メートル・幅約3メートル・奥行き約4メートルで、手の込んだ彫刻や金箔で装飾されています。

豊穡に感謝し舞う

祭礼の目玉「三番叟」。各組から選ばれた子どもたちが山車の前に設置された舞台で、3人で演じる「式三番叟」、1人で演じる「三番叟」を華麗に舞います。その所作、身のこなしは、各組において大人から子どもへ脈々と受け継がれています。

10月 October



横根藤井神社祭礼 三番叟

子どもたちによる「三番叟」の華麗な舞と豪華絢爛な山車が魅力。世の中の安穏と豊作を願う祭礼。



産業文化まつり

メディアス体育館おおぶ周辺を会場として開催。商業・工業・農業・文化に関するイベントでにぎわう。



2月 February



盆梅展

大倉公園の会場で自慢の盆梅約70点を展示。中には樹齢300年の盆梅も。



長草天神社 どぶろくまつり

500年以上続く長草天神社の奇祭。参拝者へどぶろくが振る舞われる。



March

3月



さくらまつり

桃山公園周辺を彩るのは約200本のソメイヨシノ。夜のライトアップも人気。

文化

大府と祭り

大切な
思い出として
心に刻まれる
大府の祭り・
イベント

四季を通して、大切な思い出として市民一人ひとりの心に刻まれる祭り・イベントが大府にはあります。
地元で代々受け継がれている伝統的な祭りから、家族・仲間と一緒に楽しくイベントまで、そこに集う人々の表情は生き生きとしています。
自然の彩りは人々にやすらぎを与え、祭りのにぎわいは季節の始まりや終わりを知らせてくれます。



大府東浦花火大会

あいち健康の森公園で開催。打ち上げ花火、手筒花火など約2000発の花火が夏の夜空を彩る。

August

8月



大府夏まつり

JR大府駅前で開催。幕開けの盆踊りパレードから夏の夜を踊り明かす。

July

7月



共長夏まつり

JR共和駅周辺で開催。鼓笛パレードや盆踊りなどが披露される。

April

4月



大倉公園つつじまつり

つつじの名所・大倉公園を舞台に、写生大会やバザーなど、多くのイベントが行われる。



半月七社神社 おまんと祭り

豊作や家内安全を祈る七社神社の駆け馬神事。地元の若者が馬の首筋に飛びつき、勇壮に駆け回る。

大府の住みやすさは子育てのしやすさ。パパ・ママが安心して子育てできる環境が整っています。
小・中学校では他市町村に先駆けてICT教育を導入し、成長期のおもたちのお腹を満たすのは、自校調理で作られた出来たての給食です。大府のおもたちがすくすく成長する理由がここにあります。

ICT教育

ICTの正しい使い方を学び、効果的に活用できるようにするため、全小・中学校に電子黒板やタブレットパソコンを導入し、これまで市の教員が蓄積したノウハウを活かしたICT教育を進めています。さらにICT支援員も配置して、きめ細かな授業を行っています。令和元年度には市内4中学校に、人型ロボット「Pepper」を導入し、各学校が工夫をこらした新たな取り組みを進めています。



子どもステーション

「0歳児を持つ親の交流会」「プレマ交流会」「多胎児交流会」など、同世代の子を持つ親子の交流会が充実しています。子育てで困ったこと、不安なことを同じ悩みを持つ親同士で話し合うことができます。ステーションには保育士が常駐しているので相談もできます。ファミリー・サポート・センターなど、子育て世帯が困ったときの支援体制も整えています。



体力向上プロジェクト

健康に生活していくための体力を小さい頃からつけていくことを目的に、就学前の園児を対象とした、運動遊びを通して子どもの体力づくりを応援する取り組みです。走ったり、跳んだり、ボールを投げたり、簡単な運動遊びに子どもたちは大はしゃぎで、児童（老人福祉）センター、保育園等で実施しています。令和2年度から一部の小学校での実施も予定しています。



自校・自園調理給食

すべての小・中学校、保育園に給食室を設置し、自校・自園で調理しています。調理後すぐに提供できるため、温かい料理は温かく、冷たい料理は冷たく、おいしい衛生的な給食を食べることができます。

食育も推進しており、地元食材を使ったメニューや行事に合わせたメニューなど特色ある給食を提供しています。食物アレルギー対応調理員の配置など、個々の状況に応じて細かな対応をしています。



小児医療

全国に先駆け、平成19年から中学校卒業までの医療費無料化を実施したように、大府は子育て支援の充実したまちです。妊婦健康診査や出産直後のお母さんと赤ちゃんをサポートする産婦健康診査や乳児健康診査、新生児聴覚検査の公費負担など様々な支援メニューを用意しています。市内には、県内唯一の子どものための保健医療施設「あいち小児保健医療総合センター」もあります。



保育園

市内には令和2年4月現在、公立保育園が12園、私立保育園等が18園あります。市では、従来から人口の増加や女性の社会進出に伴い、保育需要が増加していくことを想定し、公立保育園の定員規模拡大に加え、市独自の補助制度を整備して民間事業者の誘致を進めてきました。地域住民との交流も盛んに行われ、地域全体で子育てを応援しています。



将来都市像

いつまでも 住み続けたい サスティナブル健康都市おおぶ

「いつまでも 住み続けたい」

まちの機能や魅力を高めるとともに、人と人とのつながり、支え合いの輪を広め、本市に暮らす人々が地域の「魅力」や「温もり」を実感し、「いつまでも 住み続けたい」と思えるまちづくりを進めます。

「サスティナブル健康都市おおぶ」

本市における「サスティナブル(持続可能な)」の観点は、改善改革を繰り返しながら、発展し続ける「未来志向」の考え方です。

本市で暮らし、働き、集い、学ぶ人々がいきいきと健やかな生活を送ることができる持続可能で鋭気にあふれるまちづくりを進めます。

5つの領域を軸とし

みらいの健康

子どもが輝くまち



ALTによる英語教育

活力とにぎわいがあふれるまち



KURUTOおおぶ

ひとの健康

こころもからだも元気に過ごせるまち



大府シティ健康マラソン大会

地域で助け合えるまち



ふれあいサロン

くらしの健康

支え合い学び合うまち



大府市民活動センター(コラピア)

環境にやさしい持続可能なまち



クリーン・アップ・ザ・ワールド in 大府

まちの健康

安心安全に暮らせるまち



地域総ぐるみ防災訓練

快適で便利な都市空間が整うまち



市道柘山大府線

健康都市経営

まちづくりを支える
持続可能な行政経営



ソフトバンクとの包括連携協定締結式



ネーミングライツを活用した財源の確保
メディアスタジアムおおぶ



ネーミングライツを活用した財源の確保
愛三文化会館

基本理念

新たな発想での持続可能なまちづくり



健康都市の実現



た健康都市の実現

大府市は令和2年9月1日に市制50周年を迎えました。先人たちが築き上げた多くの宝により、今の私たちがこうして伸び伸びと暮らすことができています。50年の歩みを振り返ります。

議場

平成31年撮影

昭和43年撮影

A おおぶ文化交流の杜「allobu」 B 豊田自動織機 長草工場 C 大府西中学校

年	西暦	和暦	周年
1979年	昭和54年	(9周年)	
1980年	昭和55年	(10周年)	
1982年	昭和57年	(12周年)	
1983年	昭和58年	(13周年)	
1984年	昭和59年	(14周年)	
1985年	昭和60年	(15周年)	
1986年	昭和61年	(16周年)	
1987年	昭和62年	(17周年)	
1989年	平成元年	(19周年)	
1991年	平成3年	(21周年)	

月	日	内容
4月		共和西小学校開校 横根グラウンドオープン
4月		市長に鷹羽操氏就任
7月		中央図書館開館
11月		歴史民俗資料館開館
4月		大府北中学校開校
4月		第2次大府市総合計画スタート 大府東高校開校
9月		保健センター新築移転 市民体育館開館
9月		第1回大府シティ健康マラソン大会開催
3月		「健康づくり都市」宣言



▲「健康づくり都市」宣言



▲第1回大府シティ健康マラソン大会開催



▲大倉会館
(中央図書館・歴史民俗資料館)完成

▲大府みどり公園オープン



東山小学校開校
石ヶ瀬会館開館

大府みどり公園オープン
勤労文化会館オープン
桃山公園風車モニユメント完成

2014年 平成26年 (44周年)	2013年 平成25年 (43周年)	2012年 平成24年 (42周年)	2011年 平成23年 (41周年)	2010年 平成22年 (40周年)	2009年 平成21年 (39周年)	2008年 平成20年 (38周年)	2007年 平成19年 (37周年)	2006年 平成18年 (36周年)	2005年 平成17年 (35周年)	2004年 平成16年 (34周年)	2003年 平成15年 (33周年)	2001年 平成13年 (31周年)	2000年 平成12年 (30周年)	1999年 平成11年 (29周年)	1997年 平成9年 (27周年)														
2月	11月	8月	4月	11月	3月	10月	8月	7月	3月	2月	8月	4月	4月	11月	9月	12月	4月	10月											
富山県小矢部市と災害時相互応援協定締結	ポート・フィリップ市と姉妹都市提携20周年	ロンドン五輪で吉田沙保里さんと伊調馨さんが3大会連続金メダル獲得 小原日登美さんが金メダル獲得	大東小学校開校	ウエルネスバレー推進協議会設立	東日本大震災	第5次大府市総合計画スタート	岩手県遠野市と友好都市提携締結	市民活動センター「コラピア」開所 WHO健康都市連合日本支部第5回総会・大会開催	▲市民活動センター「コラピア」	滋賀県長浜市と災害時相互応援協定締結	中学校卒業までの医療費無料化開始	健康づくりマスコットキャラクターおぶちゃん誕生	WHO健康都市連合加盟	愛知万博「愛・地球博」開幕	中部国際空港開港	伊調千春さんが銀メダル獲得	吉田沙保里さんと伊調馨さんが金メダル獲得	アテネ五輪で吉田沙保里さんと伊調馨さんが金メダル獲得	ニッ池セレクトナ開館	市長に久野孝保氏就任	子どもステーション開所	開庁時間延長サービス開始	循環バス運行開始	市役所新庁舎業務開始	東海豪雨発生	第4次大府市総合計画スタート	市公式ホームページ開設	あいち健康プラザ開館	あいち健康の森公園オープン



市長メッセージ

大倉公園休憩棟前にて
平成27年、国の登録有形文化財に大府市で初めて登録された

「いつまでも 住み続けたい サスティナブル健康都市おおぶ」
を目指して全力で取り組みます

大府市長 岡村 秀人 Okamura Hideto

昭和45年9月1日に県内24番目の市として誕生した大府市は、市制施行以来、「健康都市」をまちづくりの基本理念に掲げ、その実現に向けて着実に発展してまいりました。そして令和2年、市制50周年という記念すべき節目の年を迎え、市制施行当時に4万9千人弱であった人口は、9万2千人を突破しました。これもひとえに、先人のたゆまぬ努力と市民の皆さまの温かいご理解のおかげと深く感謝しております。

令和2年は、大府市にとって新たな時代のまちづくりの指針である第6次大府市総合計画のスタートの年でもあります。将来都市像を「いつまでも住み続けたいサスティナブル健康都市おおぶ」と定め、市民の皆さまが地域の「魅力」や「温もり」を実感し、いきいきと健やかな生活を送ることができる持続可能なまちづくりを進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症の流行で世界中が未曾有の危機に直面する中、市民の皆さまの生活は一変し、大府市でも市制50周年記念事業など一部の行事を延期・中止せざるを得なくなりました。そんな状況でも諦めることなく、明るい未来に向かって歩き出さなければなりません。「明けない夜はない」。新たな50年に向けた一歩を踏み出しましょう。

令和2年9月

大府市制50周年記念 市勢要覧2020

FUN! OBU
夢ふくらむ 大府の未来

令和2年9月発行
発行／愛知県大府市
〒474-8701 愛知県大府市中央町五丁目70番地
TEL 0562-47-2111
編集／企画政策部広報広聴課
製作／知多メディアネットワーク

OBU 50th Anniversary
City Guidebook

大府のプロフィール

市の木	
	
【サクラ】 令和2年9月指定	【クロガネモチ】
市の花	
	
【ツツジ】 令和2年9月指定	【クチナシ】

市章



大府市

総面積 33.66km²
人口 92,988人(令和2年6月末現在)
世帯数 39,773世帯(令和2年6月末現在)



大府市は、名古屋・知多・三河を結ぶ交通の要衝で、JＲ東海道線で名古屋駅まで約15分という立地や高速道路網の整備による高い利便性と豊かな自然環境が魅力の住みやすいまちです。

明治39年に7ヶ村が合併して大府村となり、現市域が確定し、大正4年には町制を施行しました。昭和45年9月1日、愛知県内24番目の市として市制を施行。半世紀にわたり、市民や団体、企業、市との協働により「健康都市おおぶ」の実現に努力を重ね、現在まで成熟したまちとして成長を続けています。

大府市民憲章

わたくしたち大府市民は、限らない市の発展に願いをこめて市民憲章を定めます。

一、自然を愛し美しい郷土をつくりましょう。

一、教養を深め豊かな心を育てましょう。

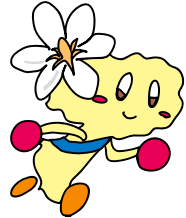
一、健康でしあわせな家庭をつくりましょう。

一、仕事に誇りをもちりっぱな社会人になりましょう。

一、きまりを守り明るい平和なまちをつくりましょう。

交流都市					友好都市	姉妹都市
						
愛媛県新居浜市	滋賀県長浜市	愛知県新城市 (作手地区)	長野県王滝村	富山県小矢部市	岩手県遠野市	オーストラリア ポート・フィリップ市

大府市公式
マスコットキャラクター



おぶちゃん

体の形は大府市の地形。明るい黄色は元気のしるし。チャームポイントは市の花くちなし。タスキをかけて未来への健康の橋渡し役を務めているよ。



イメージ曲は
こちらから
試聴できます

自然豊かで温かいまち大府を表現した『HABATAKI』と次の50年に向けた躍動感ある『FUN! OBU』の2曲。広報大使の水野紗希さんが作曲。

曲名…HABATAKI
曲名…FUN! OBU



CDジャケットは大府東高校生徒が制作

大府市公式イメージ曲

